CLSA キャピタルパートナーズ、

不動産投資ファンドのフドー・キャピタルⅢが目標額を上回り、

10 億米ドルを調達

【香港 2015 年 6 月 18 日】 アジアを拠点とする独立系投資銀行、CLSA グループのオルタナティブ投資部門である CLSA キャピタル・パートナーズ（CLSACP）は、不動産投資を行うフドー・キャピタルⅢ(「フドーⅢ」あるいは「当ファンド」）のファンド組成を行い、資金調達上限額 10 億米ドルを到達、2015 年 6 月 5 日付でファイナルクローズを迎えたことを発表しました。

フドーⅢは、アジア太平洋全域における様々な種類の不動産取得を目指した CLSACP の 3 番目の付加価値型ファンドとして組成され、当初の目標額は 8 億 5,000 万米ドルを設定していました。今回の資金は、北米、アジア、欧州、中東地域の年金基金、政府系投資ファンド、大学等の基金、保険会社等から調達しており、既に資金総額の 25%超を用いて、香港、上海のオフィス、商業店舗ビル、日本においては名古屋近郊の開発型マルチテナント物流施設（予定延床面積約 19,000 坪）、並びに東京都千代田区のオフィスビル（延べ床面積約 3,600 坪）に投資しています。

CLSACP のマネージング・ディレクターで同ファンドのヘッドを務めるジョン・パター氏は、「アジア太平洋地域は今後も非常に魅力的な投資機会が続くと確信しています。我々が投資するどの国もそれぞれ異なった独特のサイクルで機会が訪れるため、アジア太平洋全域で多様性に富み、かつ互いに補完的な不動産ポートフォリオを構成することができます。資金調達額が当初の目標額、8 億 5,000 万米ドルを上回り、当ファンドの上限額である 10 億米ドルに到達したことは、この地域が投資家にとって引き続き投資対象として魅力的であることの証です。当ファンドは、日本、上海、北京、香港に、有望投資先として投資済み案件以外にも具体的案件を多数検討開始しており、アジア太平洋全域でチャンスを生かせる体制を構築しています。」と、コメントしています。

フドーⅢは、日本、中国、オーストラリア、香港、シンガポール、台湾、韓国などアジア太平洋全域の大都市で物件のリポジショニング、開発や再開発、リースアップ、大規模改修等によって物件の価値を高める戦略を採用しています。また、アジア有数の独立系投資・証券グループである CLSA が強力なスポンサーとなっており、アジア太平洋地域の豊富なネットワークと業界の受賞歴を誇るリサーチ力を活用した運用が可能です。フドーⅢは、引き続き CLSA の総合的な投資・運用プラットフォームと、地域に根付いたネットワークを活用して不動産投資分野で付加価値型の成長機会を見出していくことになります。

なお、グリーンヒル（Greenhill）のリアルアセット・キャピタル・アドバイザリー部門が単独で当ファンドのプレイスメント・エージェント及びアドバイザーを務めました。

# # #

CLSA キャピタルパートナーズフドー株式会社
105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビルディング16 階
TEL: 03-4578-6360 FAX: 03-4578-6361
www.clsacapital.com

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ＞

広報サポート クレアブ・ギャビン・アンダーソン株式会社 担当：矢部、今井
Tel：(03) 5404-0640 Fax：(03) 5404-7120 E-mail：tyabe@kreab.com

CLSA について

CLSA は 1986 年、香港に本社を置き設立された独立系投資・証券グループで、アジアを拠点に売買仲介や投資を行っています。アジア太平洋地域をはじめ欧州、米国など世界 23 都市に 1,400 名のプロフェッショナルを擁し、グローバルに展開しています。

CLSA キャピタルパートナーズフドー株式会社について

アジア地域において商業ビル、開発案件、エクイティ投資などを行う不動産投資ファンドに対して助言を行う日本法人として設立。